

臨床に役立つすぐれモノ

ティッシュコンディショナー

デンチャーソフト Ex

Naoki TSUKIMURA

月村 直樹

日本大学歯学部 歯科補綴学第Ⅱ講座

DENTAL
DIAMOND

第49巻第8号通巻730号・2024年6月号(別刷)

発行所 株式会社 デンタルダイヤmond社



Naoki TSUKIMURA

月村直樹

日本大学歯学部 歯科補綴学第Ⅱ講座

ティッシュコンディショナー
デンチャーソフト Ex

●デンチャーソフト Ex

※価格などの詳細については下記へお問い合わせください。

[問い合わせ先]

亀水化学工業株式会社

〒572-0071 大阪府寝屋川市豊里町17-16

TEL 0120-267-720

<https://www.kamemizu.co.jp/>

ハンドリングのストレスを緩和し、 軟らかさが持続するリライン材！



短期弾性リライン材の 材料的弱点を克服

最近筆者は、義歯の臨床において、デンチャーソフト Ex（亀水化学工業）の使用頻度が高くなっています。それは、本材料が一般的なティッシュコンディショナーとしての特性と、短期弾性リライン材としての特性を併せもっているからです。

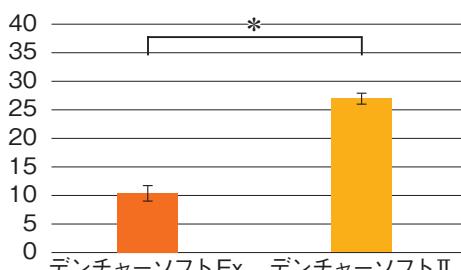
筆者が臨床において短期弾性リライン材を使用する場面は、次のとおりです。



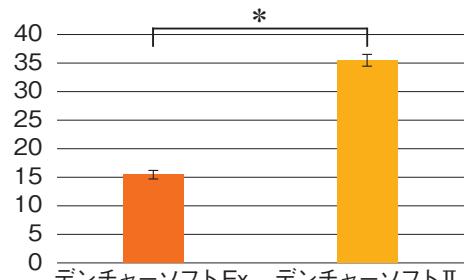
図① レストが飛んでしまい、クラスプの維持力もなく容易に脱離してしまう義歯の粘膜面観。27 支台歯の鼓形空隙におけるアンダーカット部を本製品で埋めることで、短期的に義歯を使用できるようにした

1. 最終義歯に至るまでの粘膜調整材としての使用
2. レジンでのリラインがどうしても受け入れられない（硬くて痛い）患者に対する、軟性材料のリライン材としての使用（1ヵ月程度でやり直す必要あり）
3. 即時義歯（とくに全部床義歯）における、抜歯窩の治癒までの局所的な内面の適合（歯槽骨の吸収への経時的な対応）
4. アンダーカットが得られないクラスプに対する、歯冠豊隆部直下の鼓形空隙を利用した修復（図1）
5. ダイナミック印象（動的印象）材としての応用

こういった症例への対応は、従来の材料でも長年行われてきました。歯科医師個々人が自身のスキルに合った材料を購入し、それに見合うように調整してきたと思われます。しかしながら、従来の短期弾性リライン材には、使用上の欠点がいくつか認められました。す



図② 2時間後デュロメーター E 硬さの比較



図③ 2週間後デュロメーター E 硬さの比較

なわち、「汚れる・剥がれる・削りにくい」の3点です。これは筆者にとって、臨床における大きなストレスでした。本製品はこうしたストレスの多くを緩和できるため、臨床上の使用頻度が高くなりました。

使用上のストレスに対する 本製品の活用

1. 汚れる

義歯床の粘膜面は、食物残渣などが入り込み、デンチャープラークがたくさん溜まる場所です。したがって、汚れない材料があるとは思えません。本製品も汚れないとは言い難いものの、安定性がよく肉眼的には汚れが目立たず、内面がきれいなまま保持されます。1ヵ月程度ではその状況は変わらず、もっと長く使用できると思うほどです。

2. 剥がれる（操作性）

義歯床レジンとのリライン材の素材が違うことにより、経時的に剥がれる場合があります。しかし本製品では、化学的な接着については、専用のボンディング材であるニュートップコート（亀水化学工業）を用いれば、剥がれなくなります。

3. 削りにくい

粘膜面を適合させた後、余剰にはみ出た材

料は、通常、ナイフやハサミで切って整えます。それでも段差ができるところを移行的にしたいと思うときに、従来の製品では、スタンプバーなどで削ると巻き込み、剥がれてしまうことがありました。本製品は、お湯などに短時間浸漬し、完全に材料が安定した後であれば、剥がれずに削れます。また、ビッグシリコーンポイントなどの研磨も可能です。

使用上のポイント

1. 気泡対策

内面を直接法で合わせる際、できるだけ内面に気泡を入れたくないと考えるでしょう。これは、レジンのリライン材であっても、硬質・軟質の違いがあっても変わりません。筆者はリラインと同様の手順を行う際、練ったカップから一度紙練板上にすべて出し、スパチュラで広く脱泡した後、義歯床内面に入れるようにしています。この一手間で、かなり気泡が入りにくくなります。

2. 軟らかさの持続

図2、3に亀水化学工業調べのデータを示します。従来のもの（デンチャーソフトII）に対し、デンチャーソフトExのデュロメーターE硬さの数値は2時間後、2週間後で



図④ 上顎咬合面観



図⑤ 患部の強拡大

有意に低いことがわかります。すなわち、軟らかさがある程度持続することを意味しています。

筆者が実際に使用した感覚では、他社の製品と操作時および経時の軟らかさは同程度で、その軟らかさが長時間持続するというイメージです。

3. 洗浄剤の使用

メーカーでは、市販の義歯洗浄剤として酵素入りポリデント（アース製薬）は使用できるが、他の製品は使用しないよう指示しています。筆者はとくに患者に義歯洗浄剤の指定は行っていませんが、洗浄剤使用後の来院時に大きく気泡が出始めた、剥がれやすくなつたなどの感想は抱かないことから、他の洗浄剤でも大きな問題は発生しないのではないかと思っています。

また、リライン直後から1週間までは、5分以上浸漬しないようにとの記載もありますが、これもさほど気にする点ではないように感じます。もちろん、患者にはメーカー指示をしっかりと伝えることが好ましいでしょう。

義歯性線維腫（フラビーガム）の症例

|3_4 相当部の義歯床辺縁が義歯性線維腫に



図⑥ 本製品による短期リライン

なった患者に対して本製品の使用により線維腫の治癒に至り、新義歯作製を行った症例を供覧します。

患者は65歳、女性。|3_4に磁性アタッチメントを利用したオーバーデンチャーが装着されていました。数年にわたり問題なく使用していたものの、歯周病が進行して根面板の支台歯の動搖が激しくなったことから、抜歯して義歯修理を行いました。

磁性アタッチメントにより義歯の支持が保たれて咬みやすく、そこをおもに咬み続けたことで義歯床が食い込み、義歯性線維腫が生じたと考えられます（図4、5）。

義歯を使用しながら治癒させる必要があるため、本製品を用いて短期リラインを行い、粘膜の治癒を促すことにしました（図6）。



図⑦ 上顎咬合面観



図⑧ 患部の強拡大



図⑨ 1カ月後の短期リライン



図⑩ 義歯の強拡大

内面は一様で、剥がれなどは見られません。

1週間ごとに来院してもらい、本製品による短期リラインを繰り返しました。1カ月後の口腔内の状況を図7、8に示します。患部の状況はかなり落ち着いてきたことがわかります。当初、コンニャク状になりぶよぶよとしていた粘膜が硬くなり、左右差があまり感じられなくなりました。また、義歯の辺縁も明確になってきたことがわかります。

本製品における短期リラインについても、義歯の形態が再現されています。内面は一様で、剥がれなどは認められません（図9、10）。

粘膜や辺縁形態が明瞭になり、かなり状況がよくなったことを受け、新義歯の作製に移行しました。本製品のもつ軟らかさにより、

義歯を使用しながらも創部の治癒を早期に達成できたものと思われます。



デンチャーソフト Ex は、目的に沿った使用においてハンドリングのストレスを緩和するだけではなく、治療効果が得られる材料として推奨できる製品です。とくに訪問診療などで、条件が厳しい義歯の修理や調整における使用は、患者に対しておおいに貢献してくれるを考えます。

また、汚れが付きにくいうえ面が荒れず、軟らかさがある程度持続することは、患者の満足度を高められるでしょう。